

LAST2 僅かな可能性と意地を懸けて



Preview

前期の借りはここで返す

ここに来て、2位・桐蔭大がまさかの連敗。依然として厳しい状況に変わりはないが、残り2試合で勝ち点差5と僅かに昇格への可能性を残す。少しでも可能性がある限り、諦めるわけにはいかない。

今節迎える相手は“歴代最速”で昇格と優勝を決めた東洋大。昇格と優勝のダブルが目標だった駒大にとってこの上ない屈辱的な結果だろう。しかし、だからこそここで負けるわけにはいかない。しっかりと勝利し、意地をみせることが求められる。

前回の対戦は6月16日。勝てば、首位が入れ替わる重要な一戦であったが、結果は2-3で敗れた。この試合でもそうであったが、東洋大の中盤を自由にさせては勝機はない。前からプレスに行くのもいいが、引いて構えて、相手をおびき出すことも一つの手だろう。その方が、湯澤らのスピードを活かすことが出来るはずだ。

「(昇格)のチャンスはあると思うし、次が残された試合で一番大事」。前節の東海大との試合後、奥村はそう言って気合を入れ直した。残り2試合。僅かな可能性と意地を懸けて東洋大に挑む。

Play Back



第86回関東大学サッカーリーグ戦・第10節
2012. 6. 16(土)@駒澤大学玉川グラウンド

駒大2-3東洋大

16分:[東]野崎(馬渡)

25分:[東]野崎

29分:[駒]碓井

78分:[駒]碓井

90+5分:[東]オウンゴール

首位攻防戦、ロスタイムに散る

首位に浮上する絶好のチャンスとなったこの一戦。だが、序盤から主導権を握られると、あっさり2失点を喫する。それでも何とか碓井の2ゴールで追いついたが、ロスタイムだった。三澤の判断ミスから最後は嶋谷がオウンゴール。首位浮上とはならなかった。
(紙面編集:猪熊 脩登)

順位表<第20節終了時>

順位/チーム	勝点	勝数	分数	負数
1. 東洋大	48	15	3	2
2. 桐蔭大	38	12	2	6
3. 駒澤大	33	10	3	7
4. 関学大	30	9	3	8
5. 法政大	28	8	4	8
6. 東海大	26	8	2	10
7. 拓殖大	25	7	4	9
8. 青学大	25	7	4	9
9. 平国大	23	7	2	11
10. 日大	22	6	4	10
11. 朝鮮大	22	7	1	12
12. 亜大	21	5	6	9